令和４年度指定管理者モニタリングレポート
（指定管理者の管理運営業務評価結果）

施　設　名	宇部市男女共同参画センター・フォーユー
所　在　地	宇部市琴芝町一丁目２番５号
所　管　課	市民環境部　人権・男女共同参画推進課

指定管理者	名　称　パームズ
	所在地　宇部市相生町８番１号
	代表者　　株式会社 宇部総合サービス 代表取締役　古谷 浩
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　業務の履行状況の確認・評価

○　適正な施設管理・運営が行われたか	評価結果
【運営業務】 主には基本協定書、業務仕様書、事業計画書等に基づいて適切に施設運営が行われている。 【維持管理業務】 施設については、清掃業務など適切に維持管理されている。また新型コロナウイルス対策についても適切になされていた。 【事業（提案事業・自主事業）】 定期文化講座や自主事業等の企画・運営については、施設の設置目的を十分に踏まえた上で新たな方向性を模索するなど、一定の努力が認められる。	S

２　サービスの質の評価

○　利用者サービスの水準確保の向上が図られたか。	評価結果
【利用者アンケート（利用者の満足度等）】 ①　調査の概要（調査対象、調査時期、調査方法、回答状況） ・調査対象：施設利用者 ・調査期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日 ・調査方法：施設内の施設利用者に対しアンケートへの回答を口頭で依頼し、実施した。 ・回答状況：118 枚 ②　アンケート結果の概要（利用者の満足度等） ホームページ等、施設清掃・整頓以外の項目での「満足」以上が 50%以上であり、かつ今後の利用に関する質問については、「現状維持…83.0%」「利用を増やしたい…17.0%」と良好な評価を得ている。 【実地確認等】	B

コロナ禍以降の利用率・利用者の減のあるなか、自主事業の強化や講座の見直しなど、新たな取り組みを積極的に実施している。 【事業（提案事業・自主事業）】 「定期文化講座」において、コロナ禍以降の利用者減少が減少傾向にあるが、短期講座によるニーズの把握から新規講座の開設につなげるなど、意欲的な見直しが図られている。 また施設の設置目的である「男女共同参画」を主目的とした事業について重点的に実施されている。	

３　サービス提供の継続性・安定性の評価

○　適正な収支実績のもとで、継続的・安定的にサービス提供が実施されているか。	評価結果
コロナ禍以降の利用者の減及びエネルギー価格高騰の影響で赤字となってしまったものの、その他は適正な収支実績等のもとで、継続的・安定的かつ意欲的なサービス提供が実施されていると認める。	B

４　民間ノウハウの注入による加点すべき取組の評価

○　民間ノウハウの注入により、施設の設置目的の増進につながる取組が実施されているか。	評価結果
民間ノウハウを活用した自主努力が積極的になされており、収支状況の改善、利用者の利便性及・職員の質の向上につながっている。	5

５　総合結果

○　モニタリング内容の総括（評価の理由）	総合評価
条例・規則、協定書を遵守し、業務仕様書の内容にのっとり適切に業務が行われている。また、施設運営に関する疑義が生じた場合には、適宜、施設主管課との協議を行い、運営上の課題等に対する改善策を講じている。 コロナ禍以降減少傾向にあった利用率・利用人数を戻す取り組みが意欲的に行われ、回復傾向にある。また、利用者アンケート結果もおおむね満足度が高く、利用者サービスの質は良好であると認める。 収支状況においては、当該年度のマイナス決算は要因が明らかであり正当性がある。また過年度実績及び指定管理者本体の経営分析指標からみて、継続的・安定的なサービスの提供に問題はない。 その他、広報や利用申請の多角化や救急救命講習等職員研修の実施などの、民間ノウハウを活用した自主努力も効果的に行われており、概ね適正な運営がなされていると認められる。	A

■評価基準

Ｓ（　秀　）　協定書等の基準を遵守し、その水準を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた。

Ａ（　優　）　協定書等の基準を遵守し、その水準を十分に達成した。

Ｂ（標　準）　協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。

Ｃ（課題含）　協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。

Ｄ（要改善）　協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。

※　参考資料（別添）

１　収支の状況

２　施設利用者数

３　施設稼働率（利用率）

モニタリングレポート（参　考　資　料）

施設名　男女共同参画センター・フォーユー

収支の状況

項目		予算額（千円）（事業計画）	決算額（千円）（事業報告）	差額	適否等検証（計画・目的達成度など）
収入	指定管理料	14,520	14,520	0	
	利用料金	1,006	887	△ 119	コロナ禍による貸館利用料収入の減
	事業収入	30,800	22,586	△ 8,214	コロナ禍による定期文化講座等受講料収入の減
	その他収入			0	
	（補償金）		2,507	2,507	昨年度補償金。エネルギー価格高騰対策支援金（294千円）は次年度計上予定
	収入計（a）	46,326	40,500	△ 5,826	
支出	人件費	18,620	17,608	△ 1,012	職員人件費の減
	施設維持管理費	6,800	8,637	1,837	光熱水費の増
	備品購入費	0	0	0	
	修繕費	0	0	0	事業費に含む（182,950円）
	事業費	20,032	16,575	△ 3,457	コロナ対策による定期文化講座謝金・取り止め講座謝金の減、コロナ対策消耗品費等の増
	その他（公租公課	774	1,225	451	消費税等
	予備費	100		△ 100	
	支出計（b）	46,326	44,045	△ 2,281	
収支	（a）－（b）	0	△ 3,545	△ 3,545	

※　施設利用者数（年度比）　　単位：人

施設名	指定期間前年度			R3			R4			R5			R6			R7			指定期間前の年度との比較
	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	
講習室	1,141	3,021	4,162	1,568	2,593	4,161	2,359	2,648	5,007										120%
料理実習室	430	1,090	1,520	740	1,747	2,487	1,485	1,903	3,388										223%
第1・2講習室	3,259	3,788	7,047	2,138	4,086	6,224	3,148	4,042	7,190										102%
第3講習室	788	2,359	3,147	1,522	3,293	4,815	2,592	3,586	6,178										196%
第4講習室	483	1,063	1,546	911	1,342	2,253	704	1,456	2,160										140%
会議室	146	495	641	659	995	1,654	670	792	1,462										228%
和室	349	906	1,255	996	1,110	2,106	1,271	1,644	2,915										232%
学習室	575	1,139	1,714	1,269	1,521	2,790	1,299	1,709	3,008										175%
軽運動室	5,305	8,474	13,779	5,820	8,939	14,759	7,676	10,089	17,765										129%

※　施設稼働率（利用率）　　単位：％

施設名	指定期間前年度			R3			R4			R5			R6			R7			指定期間前の年度との比較
	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	
講習室	30.5	51.7	42.5	31.3	43.7	37.9	37.7	41.5	39.6										93%
料理実習室	7.8	15.9	12.4	11.0	23.3	17.6	17.3	23.4	20.3										164%
第1・2講習室	46.1	43.1	44.4	26.9	46.5	37.4	25.7	46.2	40.9										92%
第3講習室	18.8	32.0	26.2	24.3	41.0	33.3	31.3	41.9	36.5										139%
第4講習室	18.0	20.3	19.3	20.1	21.7	21.0	11.8	19.8	15.7										81%
会議室	8.3	14.3	11.7	18.5	22.9	20.9	18.1	18.8	18.4										157%
和室	8.9	16.1	12.9	15.9	20.1	18.2	20.0	23.5	21.8										169%
学習室	17.4	20.3	19.1	25.2	27.2	26.3	23.1	28.6	25.8										135%
軽運動室	35.2	47.3	42.0	33.2	48.5	41.4	36.7	47.6	42.0										100%